

一般質問

条例の制定で 住民の不安解消を

その他の質問 ○岸和田競輪場再整備及び周辺まちづくり

河合

馨

【問】本市において過去に土砂災害が発生した傾斜地付近に、許可なく土砂が搬入された。

本市として、府が規制して

いない 500 平方メートル以上 3000 平方メートル未満まで、土砂の埋め立てを規制する条例を制定すべきと考えるがどうか。

【答】条例制定の必要性は十分認識しており、府や関係機関と協議し、迅速かつ丁寧な説明を行い、早期に条例が制定できるよう努力する。

【問】地域の安全を確保するため、急傾斜地の対策工事が必要であるが、膨大な費用がかかる。本市として

どう取り組むのか。

【答】今年度、府に対して、危険区域の周知や未整備箇所の整備促進を要望している。

【問】高齢社会における日常生活の移動手段の確保のため、公共交通を整備すべきと考えるがどうか。

【答】現在、路線バスが運行されている地域については、路線バスの運行継続を最優先に考えている。しかし、地形や道路事情などの物理的条件のため、運行できない地域がある。

地域のニーズに合った多種多様な交通形態を視野に入れ、地域とともに検討していきたい。

一般質問

巨額の投資 競輪事業の必要性は

井舎 英生

【問】競輪場に 100 億円もの巨費を投じて、東京オリンピックまでに性急に全面建て替えを行うのは反対である。

耐震診断を行い、部分改修による延命化を図るべきと考えるがどうか。

【答】現在の競輪場は、近年の来場者数に対し規模が過大であり、今後、安定した事業を継続するには、施設を縮小し、機能を集約化するなど、施設全体の再編が必要である。身の丈に合った事業規模で、基本構想に沿った再整備を進めたい。

【問】今後、長きにわたり今の場所に競輪場が居座り続けることは、地域の発展

一般質問

業者選定は 公正な手続きで

稲田

悦治

【問】競輪場の再整備基本構想策定業務において、事前に予備調査を行った業者が受託することとなった。

しかし、業者選定の際、明らかにその業者と分かる資料が配付されており、外形的公正性が担保されていないと考えるがどうか。

【答】業務実績や体制については、事前に事務局で採点を行い、提案書の評価については、プレゼンテーション及びヒアリングの後、選定委員が行った。その際、業者が特定されない形で評価しており、公平・公正な選定であったと考えている。

【問】選定委員の手間を省くために事務局で評価した

審査項目の詳細を聞きたい。

【答】業務実績や監理技術者、業務実施体制、見積金額の項目について採点した。

【問】選定委員 8 人全員が市の職員で、そのうち 4 人が競輪場の職員であり、審査項目 10 項目中 4 項目で予備調査を行った業者を満点と評価していた。これらの点において、外形的公正性が担保されていないと考えるがどうか。

【答】競輪場の職員は、通常業務の中でノウハウもあり、また技術職は今までも他の案件でプロポーザルを受けて採点しており、委員の選定や審査は適正であったと考えている。

一般質問

なぜ急ぐのか 競輪場の全面建て替え

京西 且哲

【問】計画されている競輪場の全面建て替えが、春木駅周辺のまちづくりに貢献するとのことだが、春木校区と大芝校区を対象とした住民説明会で、競輪場は迷惑施設なので移転して欲しいとの発言があった。

説明会の状況は、市長を始め、関係部局で共有されているのか聞きたい。

【答】情報を共有するため、説明会での質問と回答を記した概要版を作成中である。また、公表する内容についても検討している。

【問】競輪場周辺環境整備対策協議会が競輪場と地元との協議の場になっているが、組織構成が要綱のとおり

一般質問

子育て世代を支える 拠点の整備を

その他の質問 ○新生児聴覚検査の実施 ○乳幼児健診待機時の有効活用

ほか

南 加代子

【問】昨年 4 月に創設された、子ども・子育て支援新制度に関連し、地域の実情に応じて実施する妊娠・出産包括支援事業がある。これを実施する拠点となるのが産前から産後、子育てまでを切れ目なく支援する、いわゆる「ネウボラ」である。

本市としても、岸和田版ネウボラの実現に向け、現在の組織を見直す必要がある。「子ども部」の創設などにより、市民からのさまざまなニーズにきめ細かく対応できる体制づくりが必要と考えるがどうか。

【答】大阪一、子どもを産み、育てやすい街にするこ

とは、人口減少に歯止めをかけるための最も重要な施策である。

出産・子育て施策を推進するためには、母子を健康面からサポートする母子保健機能の充実に合わせ、子育てに対するさまざまな問題や課題をサポートできる体制を強化していく必要があると認識している。

今後、市民目線に立ったわかりやすく、それぞれの業務が切れ目なく連携し、市民に安心して出産・子育てしてもらえる体制の構築を図るため、子ども部の創設も含め、よりよい体制を構築するための調整を進めていく。

一般質問

閉ざされた選定 外部のチェックは

井上 博

【問】競輪場の再整備基本構想策定業務委託における業者選定は、市の職員を選定委員として、プロポーザル方式で行われた。

技術的な項目を含む提案に対し、市の職員だけで審査するのではなく、外部の有識者を加えた形で行うべきと考えるがどうか。

【答】今回の業者選定はプレゼンテーションを実施し、ヒアリングのうえ、提案やその実現性について各選定委員が評価したものである。また、選定委員の中には技術職員が含まれており、適正に審査が行われたと考えている。

今後、再整備事業を進め

ることになれば、審査委員会を設置し、設計や施工に係る業者選定などについて、外部委員の意見を求めている。

【問】本市ではプロポーザル方式による契約を各課で個別に行っているが、国や府ではマニュアルを作成し、統一した基準で行っている。本市もそのようにすべきと考えるがどうか。

【答】業者選定の基準などは担当課が所管すべきと考ええるが、事務執行上の手順、手続きは統一に行う方がよいと考える。指針となるものの作成について、関係各課と調整のうえ、前向きに検討していきたい。